

2008 年岩手・宮城内陸地震に伴う余効変動(水平ベクトル)

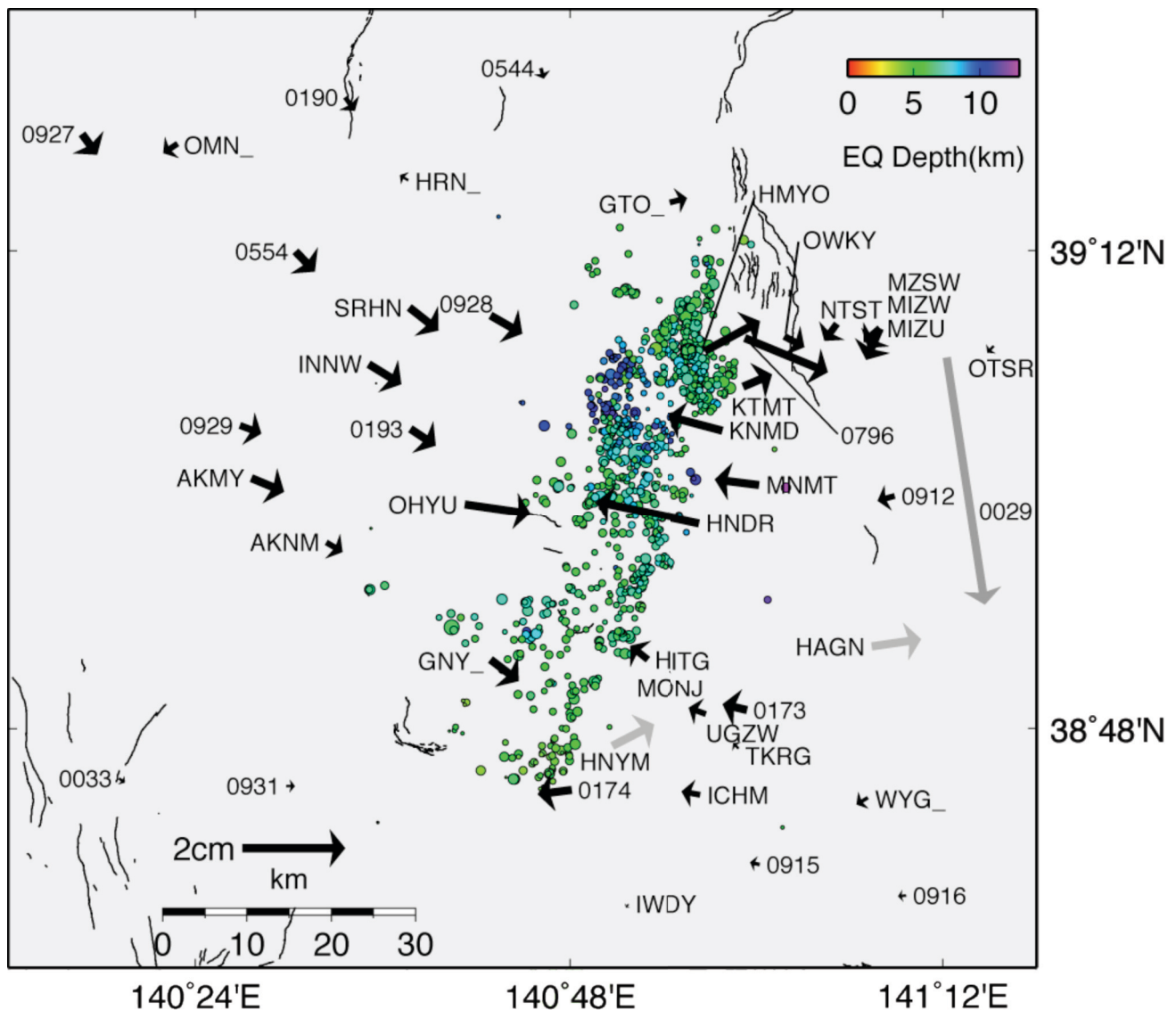


図15 GEONET 観測点, 原子力安全基盤機構による観測点, 国立天文台水沢 VERA 観測所の観測点と, 地震後に設置した 2008 年岩手・宮城内陸地震緊急観測グループによる GPS 観測点における地震後の GPS 水平変位ベクトル(6月 16-17 日の平均値と 6 月 28-29 日の平均値の差). 灰色で示したベクトルは時系列にアウトライヤーが多く, 変位量の信頼性が低いと考えられる観測点. 固定点は GEONET 0171 (大船渡).

謝辞: 本研究は国土地理院 GEONET 観測点・国立天文台水沢 VERA 観測所の GPS データを使用しました. また原子力安全基盤機構(JNES)が平成 19 年度, 20 年度に実施した内陸の活断層調査に基づく震源断層評価手法の検討事業で取得された GPS データを使用しました. 記して感謝致します.